

No.1707

第1708 回例会

2016年3月4日(金) 12:30 ~ 13:30

点鐘

君が代斉唱

ロータリーソング“奉仕の理想”

会食(和食・\$100万ミール)

会長会務

*ビジター紹介。

*先日来、新聞等で廃油ボールが日本海側に流れ着いて大変だと言う話を聞き、日曜日に東浜に清掃に行ってきました。海岸は波により削り取られ、砂浜がかなり減っており海外からのペットボトルなどのゴミが多く漂着しており、短時間で大量のゴミが集まり環境保護について考えさせられました。

*2月27日(土)岡山で開催の米山奨学生歓送会に出席されてこられた児島 良会員、ご苦労様でございました。

*3月は水と衛生の月間です。

*3月の結婚祝を差し上げます。

麻木宏栄 大田原俊輔 木原一志 平野敏和
山下卓治の各会員

幹事報告

*松江しんじ湖RC創立20周年記念誌拝受。

*次回例会は3月9日(水) 18:30 ~ です。

*例会終了後、定例理事会を開催いたします。

委員会報告

*親睦・出席委員会

出席率・スマイル報告

*雑誌委員会

*その他

卓話「あなたの相続は、本当に大丈夫ですか？」

会員 葉狩弘一さん

先週(第1707 回例会)の記録

2016年2月26日(金) 12:30 ~ 13:30

会長会務

本日はゲストをお迎えしておりませんが、元会員の原田 進さんが来ておられます。

先週は私の卓話でしたが、余り上手く説明できませんでした。私も微力ながらホームページを通じて鳥取の魅力を発信したいと思います。今後、東部地区に中・長期滞在型観光客が増えてくれたらと感じます。

鳥取北RC創立55周年記念式典に岩崎幹事と共に出席しました。白駒先生の講演で始まり、記念式典、記念撮影、祝賀会まで計6時間に渡り、佐藤芳郎ガバナーをはじめ高知北RC、岩美町長、第1グループRC会長幹事他来賓を迎えて盛大に開催されました。

佐藤ガバナーの挨拶で、ロータリークラブが創立されて今年110周年となり、鳥取北RCは半分の55年、追い越す事は出来ないが一年一年大切に過ごし立派なクラブになって頂きたいとの事でした。特筆すべきは高知北RCと姉妹提携を結ばれ、毎年ゴルフ等交流を深めておられ、記念式典には会員家族総勢55名が参加されていました。

野間田ガバナー補佐の祝賀会乾杯挨拶で、米子IM参加呼びかけと、次年度IMは鳥取西RCがホストとなり開催される旨のお話がありました。長丁場でしたが式典、祝賀会の運営等勉強させて頂くつもりで、最初から参加しました。

幹事報告

*3月のロータリーレート \$1=116円

*ロータリー青少年指導者養成プログラム(ライラ)のご案内。5月22日(日)岡山市にて

*東部5RC合同例会に伴う例会変更のご案内。

鳥取中央 3月7日(月)

鳥取北 3月8日(火)

智頭 3月9日(水)

鳥取 3月17日(木)

いずれも3月9日(水) 18:30 ~ に変更

ビジターの受付は、それぞれ定時定例会場にて。

合同例会ご欠席の方は、いずれかにメーキャップをお願いいたします。

*鳥取北RCより、創立55周年記念式典参加のお礼状。

*第1・第2合同IMの出欠席を本日で締め切ります。当クラブは貸切バスで参ります。

またご案内しますが、自家用車で行かれる場合、駐車場は会場のホテルが満車のときは、最寄りの有料駐車場を利用してください。

*鳥大広報誌(風紋)を回覧いたします。

出席率

2月26日 会員46名 欠席14名 69.57%

2月12日 メーキャップ 2名 82.61%

メーキャップ会員

2月20日 金田卓也会員 岩崎陽一会員

鳥取北RC創立55周年記念式典

2月23日 岡本安量 平野敏和 山下卓治

岡田信俊 田中好洋の各会員鳥取北RCへ

スマイル

*原田 進様/久しぶりに皆さんのお元気なお顔を拝見しに参りました。

*金田卓也会員/原田さんお久しぶりです。ご入会をお待ちしています。

*森下哲也会員/瀧本さんこんにちは。今日は何の日ですか!

*米花廉友会員/本日卓話をさせていただきます。

*米村年博会員/森本様、牧浦様、山田様、金本様に言われました。

*岡本安量会員/金田会長、お世話になりました。ありがとうございます!

*葉狩弘一会員/欠席が続きましたので。

*早退・パッチ不携帯2件 合計10,000円

*R財団特別寄付:3件

IDM変更と決定

第1班 3月18日から16日(水)へ変更

第5班 3月24日(木)花のれんに決定

山登り同好会

3月19日(土)明神山(播磨富士)へ登ります。登山教室も行いますので、初心者の方でもご参加下さい。

卓話「若桜宿あれこれ」

会員 米花廉友さん

4月10日に家族レクリエーションで若桜宿散策と桜まつりを見学し、その後氷太くんに町営バスで行き、響の森での創作体験や森の散策を行います。本日の卓話で若桜宿の事を前もって理解して頂ければ幸いです。

若桜に仮屋ができたのは明治18年の大火があった時、若桜宿会議で「家は道路端から1丈1尺(3.3m)控えて土台を造ること、その土台から4尺(1.2m)の仮屋(ひさし)を付け、2尺(60cm)の川を付けること」などが決められました。現在は途切れ途切れになっていますが、当時は700mから800m連なっており、雨の日でも傘無しで通り抜けができたようで「若桜よいとこ雨の日も仮屋づたいに傘いらす」と歌われています。



酒蔵:地酒「辨天娘」は若桜を代表するお酒です。明治42年創業の太田酒造場は平成4年から10年間人員不足のため休蔵していましたが、四代目蔵元が社員を社内に起用し平成14年より復活し、仕込みは社長を含め3で行なう小さな蔵です。だいこん奈良漬の製造も行っています。

因幡三名城とは鳥取城、鹿野城、因幡国八東郡の若桜鬼ヶ城(わかさおにがじょう)です。鶴尾山山頂部から尾根部分に建てられました。



築城年 鎌倉時代初期 築城主 矢部暉種(やべあきたね)元々は駿河の矢部村の地頭一族で、幕府の命によって梶原一族を討ち取る功績により、因幡国八東郡山田村外20ヶ村を恩賞として与えられ、若桜鬼ヶ城を築城。若桜城下を望み、更には但馬街道と播磨街道とが見渡せる因幡地方にとっては重要な場所でした。

江戸時代に入り、元和3年(1617)に一国一城令により廃城となり、後の元禄14年(1701)「城下町」は「宿」と改められ、但馬、播磨、美作へ通じる交通の要衝としてにぎわい栄えた。

主な城主 矢部氏代々、山中幸盛(鹿介)、八木豊信、木下重堅(きのしたしげかた)(改修)、山崎家盛(改修)。矢部氏は鎌倉時代、南北朝時代、室町時代、安土桃山時代と続きます。

毛利元就の次男、吉川元春(毛利元春)が因幡に進出すると矢部氏はこれに従いました。安土桃山時代の天正2年(1574年)、毛利氏が因幡から退くと、すかさず尼子氏は侵入。播磨国に近い若桜を目につけた山中幸盛は謀略を以って城主の矢部氏を生け捕り、落城させました。この時をもって矢部氏は滅亡したといわれており、後に若桜周辺に帰農したと考えられています。

矢部氏時代の戦国時代の山城の古城部と木下・山崎氏時代の主要部は近世初頭になって新たな築城技術で構築され、全国的にも類を見ない遺構で、平成20年に国の史跡指定となりました。

次週例会予定

2016年3月9日(水)第1709回例会

東部5RC合同例会 18:30~鶴の間

(編集者 矢谷英志)